

## 和歌山県立医科大学が実施する運動器健診に参加される方々

和歌山県立医科大学公衆衛生学講座、同大学整形外科学講座は、以下の研究を実施します。

ここにご説明するのは、和歌山県で実施される運動器健診に参加される皆さんの血液や尿の解析を行うことで、運動器疾患との関連を検証する「前向きコホート研究」です。運動器疾患の予測や診断に役立つ研究で、和歌山県立医科大学倫理審査委員会において承認を得て行うものです。

本研究は、対象となる皆さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。ご自身の情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

かつらぎ Study の付随研究 酸化ストレス・糖化マーカーと運動器疾患の関連についての研究

### 2. 研究代表者

和歌山県立医科大学公衆衛生学講座 准教授 牟礼佳苗

### 3. 研究参加機関および各機関の研究責任者

和歌山県立医科大学公衆衛生学講座 准教授 牟礼佳苗

### 4. 研究の目的

高齢になると起こる、骨が弱くなる、関節が痛くなる、筋力が弱くなるなどの運動器疾患の予防のためには、これらの症状のより早い段階を予知でき、栄養や運動などの影響が評価できるマーカー（指標）の開発が重要です。酸化や糖化は、細胞の老化を示す物質で、運動器疾患だけではなく、がんや認知症など様々な病気の発症に関わっています。この研究では、運動器健診で使用した残りの血液や尿を利用して、酸化や糖化の情報を測定することで、運動器疾患との関連を調べ、予測、診断、効果的な予防法の開発に役立たせることを目的としています。

### 5. 研究の概要

#### (1) 対象となる方々

和歌山県立医科大学で実施される運動器健診に参加される住民の方々が対象となります。

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂く情報は、運動器健診で同意を得て集める情報の他、余った血液や尿を使用して、たんぱく質や脂質の酸化や糖化の程度に関する情報です。

#### (3) 方法

血液検査や尿検査の残りが和歌山県立医科大学公衆衛生学講座で分けられ、たんぱく質や脂質の酸化・糖化の程度を調べ、運動器疾患の診断に役立つ情報を取得します。

### 6. 予測される利益と不利益

この研究にご参加いただいても、皆さんご自身へ結果をお返しすることはできないので、直接の利益はありません。しかし、この研究の成果が、将来的に運動器疾患の予測や診断に役立つことで、その利益を受ける可能性があり、また医学の発展に貢献できる可能性があります。運動器健診で採取した血液や尿の残りを使用するので、追加の血液や尿の採取は行いません。

### 7. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、皆さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も皆さんの個人情報が公表されることはありません。

### 8. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、皆さんには、ご自身の情報等が利用されることを望まない場合、いつでもこれを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、運動器健診は受診できますので、不利益を被ることは一切ありません。

### 9. 資金源及び利益相反等について

文部科学省科学研究費補助金、日本医療研究開発機構長寿科学研究開発事業  
本研究に関して報告すべき利益相反はありません。

#### 10. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学公衆衛生学講座 准教授 牟礼 佳苗

TEL : 073-441-0647 FAX : 073-448-0238 E-mail : kana@wakayama-med.ac.jp